

エルデの靴や足底板の作製・提供技術は、ドイツの医療靴技術 = 整形外科靴技術に基いています。

私たちが 1996 年から 2003 年まで指導して下さった、整形外科靴マイスター、カール＝ハインツ・ショット氏が、この度、整形外科靴技術者の国際組織 (IVO) から、国際的分野で貢献した人に贈られる IVO 賞の初回の受賞者に選ばれました。日本での



技術指導から始まり、その後根拠地としたオーストラリアでの技術普及と教育システムの確立、また、IVO 会長就任時に進めた WHO との連携による東南アジアでの技術指導等、数々の国際的な業績が評価されたものです。

7 年半にわたり、手とり足とり指導を受けた私たちにとって、嬉しいニュースとなりました。当時、ショットさんに足の状態を診てもらい、彼の工房で作る特別の靴や足底板を使っておられたお客様も多く、懐かしい思い出をお持ちの方もいらっしゃるでしょう。

出会った当初はまだ 30 代半ばの若いマイスターでしたが、すでに優れた指導能力を持ち、この技術に対する考え方や足の状態への対処の基本原則を教えてくださいました。それが、私たちの、今日にまで続く「日本人のための靴」の開発・普及の道につながっていると思っています。

ショットさんから学んだ技術を、今後に継承していきたいものです。(技術の継承事業については、<https://k-sk.org>)